

2025年度 きゅうりょうかい 宮陵会の御案内

合格おめでとうございます。心からお慶びを申し上げます。

一般社団法人 神奈川大学宮陵会

一般社団法人神奈川大学宮陵会は、わが大学の同窓会組織の公式名称です。1937（昭和12）年3月に設立され、卒業生全体の唯一の団体として校友を等しく会員として位置づけ、母校神奈川大学の発展に寄与するとともに会員及び準会員（在学生）相互の親睦を図ることを目的としており、2017（平成29）年3月に設立80年を迎えました。

現在、校友の総数は24万人を超え、政界、経済界、官界、法曹界、教育界など国内各界に止まらず、広く海外諸地域においても多くの卒業生が指導的な立場で活躍しております。校友の活動に対する各界の評価と信頼は高く、それが母校の声価を高め、今日の神奈川大学を築き上げて来たといっても過言ではありません。

事務局は、神奈川大学横浜キャンパス内に置かれ、会長・副会長・専務理事等の役員と本会業務を決定し執行する理事会、審議機関である総会で構成されています。

地域組織は、北は北海道から南は沖縄までの全国都道府県に、また海外にもあり、その他職域、同期、

同好等で構成された組織があります。各地域組織は独自の活動を行いながら、本会との連携を図り、大学や在学生諸君との交流も積極的に行っております。

その他、会誌（4月）、会報（2・7・12月）の発行・送付を通して、会員の交流のみならず各界で活躍する卒業生を紹介し、在学生へのエールを送るなど、大学と会員、また、本会と地域組織等を結ぶパイプ役として、大きな役割を果たしております。

そして、特に大きな事業は、母校及び準会員（在学生）対象事業の推進です。これは、母校の教育・研究に対する助成をはじめとして、在学生に対する奨学金の給付、新入生には記念品・会報等の配布、課外活動団体の活動に対する賛助、体育の振興、講演会等の開催支援、卒業祝賀会の共催など、年間を通して様々な事業を行っております。

このたび新たに会員となられる皆様におかれましては、本会の活動に積極的に参画され、会員相互の交流を深めて充実した学生生活となりますように祈念いたしております。

宮陵会の組織現況

(1) 組織

総会 代議員（社員）で構成。代議員数195名
理事会 理事20名
（うち会長、副会長2名、専務理事3名）
監事 3名
委員会 総務財政、組織、広報、事業、交流企画
の5委員会

(2) 地域組織の現況

地方79、職域21、同期・同好33、海外6
合計139

(3) 会費

本会は会員および準会員相互の親睦をはかり、母校神奈川大学の維持発展に寄与するため、各種の事業活動を行っていますが、それらはすべて会員および準会員から納入いただいた会費でまかなわれています。

本会会員規程に基づく準会員は、【学部】入学年次10,000円・2年次編入15,000円・3年次編入20,000円、以降は卒業するまで年額5,000円を納入、【大学院】（神奈川大学以外の大学を卒業）入学年次15,000円、2年次10,000円、以降は修了又は満期退学するまで年額5,000円を納入。準会員は卒業と同時に正会員に移行し、卒業後20年間は会費不要です。

